



日本共産党 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平6-25-1

南平ビル1階

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小山 敏正

第182号

2017年
12月号

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 3497円

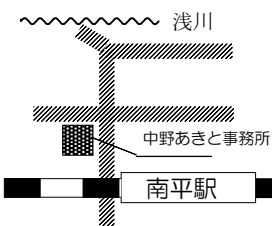
日曜版1ヶ月 823円

お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



日野市「第5次行財政改革実施計画」 値上げ、有料化大計画

日野市が検討している5次行革。その内容を見ると、値上げ・有料化、サービス切り下げの検討項目がずらりと並んでいます。この計画が承認され具体化されれば、市民の大きな負担は避けられないことが12月市議会の日本共産党市議団の質問で明らかになりました。来年2月には市議選が行われますが、各陣営がこの計画にどういう立場で臨むのか問われる選挙となります。

地区センター、公共施設など
の駐車場が有料化されます。

その他にも

市内67カ所にある地区センター。現在は無料です。自治会、サークルなど、年間37万人が利用している活動拠点の有料化が検討されます。

また、市役所や市民会館、七生公会堂、南平体育館などの駐車場も有料化の検討対象です。ごみ袋も値上げの方向です。

市は、ごみ収集を有料化した際「ある程度負担に感じてもらえる価格」を設定しました。つまり、原価や処理費用などとは無関係に、「ごみ減量効果」を基準にして袋の価格を設定したのです。

その減量効果は抜群で、全国4位とトップクラスです。値上の理由などありません。

南平駅西交流センター

この駐車場も有料化の検討対象です。



消防団詰所が南平体育館裏に移転

北野街道沿いの南平4丁目の「日野市消防団第七分団第二部詰所器具置場」が12月に移転しました。



新しく完成した詰所の場所は同じく4丁目ですが、南平体育館裏・南平公園の並びです。北野街道の道路拡張にともない移転となったものです。

二スコート、体育館の値上げ。校庭の夜間照明の有料化なども。また、来年度大幅値上げが見送られた国保税も、それ以降は値上げとなることが明らかに。☆市の財政は毎年20億円前後の黒字です。値上げ有料化の必要はありません！毎年黒字の結果、市が自由に使える預金は80億円。市民の暮らしがひっ迫する中、これ以上の値上げ・有料化は必要ないのではないのでしょうか。

短信

10月末の木枯らしのあと、急に寒い日が増えた。今年のは冬が早い。恒例の銀杏まつりのさなか昭和記念公園に行く。名物の並木はすでに枯れ枝が目立ち、ふかふかに敷き詰められていたはずの黄金色の落葉も、大勢に踏まれ薄く路面を被っていた。今年も政局も激変した。自民が惨敗した都議選をうけ、じり貧は避けたいと首相が下した突如の解散劇。改憲二大政党を目指す「希望」の誘いで、あつという間に野党第一党の「民進」が分解した。しほみかけた野党共闘ならじと立ち上がる市民と力を合わせ、再構築に奔走した十三日間。そして選挙本番。排除の踏み絵が仇で「希望」は大失速。創業者の都知事は手を引き、いま寒風の中で揺れている。来年の通常国会で「改憲」の発議を目指す安倍首相。時を合わせ2月、日野では市議選となる。「安倍改憲ノ」の3千万署名と市議選の勝利。広がった共同の力で挑みたい。忙しかった西年。今年もお不動さんの境内で、正月飾りを買いたくさん。去年世代が代わってほしい。の店。「よいお年を。赤ちゃんを抱くように優しくお持ち帰りを」と、お飾りに添える言葉は受け継がれている。(K)

ミニバス・ワゴンタクシーの 抜本的充実を！

中野あきと

高齢化が進むなか、公共交通の充実を求める声は大きく広がり、日本共産党日野市議団が行った市民アンケートでも「ミニバス・ワゴンタクシーの充実」は医療、税金とならんで強い要望となっています。

大坪冬彦日野市長は9月市議会でミニバス・ワゴンタクシーのありかたについて「31年度の新しい交通体系の再編をめざす」とし、「今後の日野市の持続可能で高齢者対策をしっかりとっていく上での根幹的な政策である」「お金がないからというわけにはいかない問題」「いままですらに・・・しっかりと必要な投資をしながら、市民の足としての公共交通体系をつくる」と注目すべき立場を示しました。

日本共産党は選挙でも繰り返し抜本的充実を訴え続けてきました。引き続き切実な願いの実現へ全力を尽くします。

- 南平路線、平山循環路線の増便
- 南平駅前、南平5丁目に公共交通の導入
- 市立病院まで乗り継ぎなしでいけるよう平山循環路線の改善を
- ワゴンタクシーの改善を（1000円区間、ドア・ステップの改善、最終便18時台へ拡大、土曜日の運行）

住民の合意もないのに押し付けていいのか！ 新可燃ごみ処理施設建設問題



ごみ広域化処理反対
26 回日野市役所前集会（11月30日）

日野市、小金井市、国分寺市による新可燃ごみ処理施設の建設工事が、2020年稼働をめざし始まりました。施設整備・運営事業費は247億円、周辺環境整備費は70億円にのぼります。しかしこの巨大なプロジェクトが、日野市の施設周辺住民の理解と合意を得ることなく強行されています。

日野市長は「30年後は小金井市、または国分寺市が処理施設を引き受けてくれる約束」と説明してきました。しかし、いま処理施設をつくれぬ両市が、本当に30年後に可能なのか大変疑問です。

また、日野市民にとっては、たんなるごみ処理施設建設の問題だけに止まりません。ごみ処理施設にはごみの搬入路が必要ですが、都市計画で公園予定地と決められたところに搬入路建設を強行しています。「これは違法行為だ」と、いま、市民が裁判で訴えています。司法が「違法」と判断すれば、新施設にごみを搬入できなくなり、新可燃ごみ処理施設に投入される巨額の税金は無駄になるのです。

この計画は3市の共同事業ですが3市の市民が計画づくりに参加する機会は一度もありませんでした。ごみ問題の解決は市民と行政の信頼と協力関係が不可欠です。高いごみ袋代を負担しながらごみの減量を図ってきた市民に対して、安倍内閣による沖縄辺野古新基地建設と同様、既成事実を積み上げて押し付けるよう市政運営を許していいのか。「立ち止まって市民と話し合え」と、声を上げるべきではないでしょうか。

日野市の国保税 大幅値上げ見送りへ

日野市の大坪市長は11月2日、日野市国民健康保険運営協議会に対して、①来年度の国保税率値上げは行わない。②課税方式を、現行の所得割、均等割、平等割の3方式から、所得割、均等割の2方式にすることを諮問しました。

来年度からの国保都道府県化にあたり大幅値上げが懸念されていましたが、見送られることになりました。これは、署名運動を展開した「国保をよくする日野市民の会」など、市民の声と運動が

反映され、一人当たり年間、約1万円もの値上げが回避されたことは画期的なことです。

一方、課税方式の見直しで、加入者の9割に当たる一人世帯二人世帯では保険税が値下げ・据え置きになるものの、低所得者や三人世帯以上は値上げになります。そのため11月20日「国保をよくする会」は市長に対し「低所得者、多子世帯の負担軽減策を求める申し入れ」を行いました。

応対した副市長は、「市長に皆さんの要望を伝える」と応えました。



《2018年 1月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
1月 11日（木）

※予約が必要ですので、お申し込み下さい。

ご感想・ご意見を
お寄せ下さい。